

5面から続く

当時、アイスランドでは、大臣が育児休業を取ることに対して批判的な声が多く寄せられた。しかし私は思ったのである。大臣あるいは企業の管理層であれども、育児休業は誰にとっても守るべき大切な権利だと、育児休業制度が整備され利用できるべきであり、対象が特定の間に限られるべきではありません。

私は元々、母親として育児休業を4ヵ月間利用した後、大臣の職務に戻りました。大臣職と育児の両立は、十分に可能であることを証明したかったのです。

そもそも育児休業制度はなぜあるのでしょうか。私の考えでは、まずは「女性が家庭と仕事の選択を強いる」、そのジレンマから解放されるためにある

家庭で仕事を両立したいと願っています。そして、私は協力的な夫がいました。夫もまた育休を取り、親としての責任を共に果たしてくれています。共有の育児休業制度がでてきて、20年以上がたになりました。さまざまな研究調査から、アイスランドの父親たちが育児休業を取得した結果が非常にありました。男性も育児に積極的に参加することで得られるメリットを実感しているのです。

育児休業の取得後も父親として子どもの関わりを大切にし、良い父子関係が形成されています。このように、育児休業は、女性だけではなく、男性のためのものであるのです。

——ジェンダー平等における日本の評価が低い要因について、うつむきやくめいさん

す。ヤコバ・スドンティ
相が「17年に就任してす
取りかかったのが、男
貴金属委員会法」とする
で初めての法律である
一貫金説明法でした。
れば、前半に行われた
議事堂での女性たちの

「**アーリング・エ**、**トーマス・エ**、**コノミー**（幸
運）実現を目指し
がないかどう
改善に努めて
後へのビジョン
さい。

全ての人が幸せに生きるため
ジエンダー平等の実現は不可欠



昨年10月、ジェンダー平等を求める大規模なストライキがレイキャビクで行われた。市民と共にヤコブスドッティル首相も参加した（本人提供）



ご感想をお寄せください

sdgs@seikyo-np.jp



右=聖教電子版の「SDGs」特集ページが閲覧できます。
左=海外識者の記事の英語版を読むことができます。



ね、これも、エリエール。

エリエールのやさしさは、ティンギーだけではありません。
おむつや生理用ナプキン、お掃除用品やキッチングーパー。除菌ウエットや
スクダって、おなじやさしさから生まれたもの。
城の高齢者を支える取り組みも、世界中の女性を支援する活動も、
ボーツチームのサポートだって、それはやさしい未来のためのもの。
なんか使うのだから、まいにち使うものだから、
へのやさしさ、ここへのやさしさ、未来へのやさしさを考えて。
生のやささまの場面で、いつでもあなたにやさしく添う、
んな存在であり続けたい、私たちエリエールです。

